

平成 29 年度 学校自己評価システムシート（山村国際高等学校）

本年度努力目標	1	学習指導においては、基礎・基本の徹底を図るとともに、応用力の育成に努める。
	2	進路指導においては、一人ひとりの進路に応じた適切な指導と、自己理解に向けた支援に努め、進路実現に努める。
	3	生徒指導においては、基本的生活習慣の確立に努めるとともに、自他を尊重する寛容と協力の精神の育成に努める。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	おおむね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※第三者評価実施日とは、最終回の第三者委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	第三者委員	5名
-----	-------	----

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価（2月10日現在）				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	○基礎学力の不足は常態的課題である。その克服のためにも、まず「授業」にどう向きあうかを考えねばならない。	学習指導	○一時間一時間の授業に真摯に臨む姿勢を身に付けさせる為の工夫・研究を重ねる。 ○「わかる」ということの内実を充実させる。	○生徒の私語・居眠りは減り、前向きに授業に取り組む姿勢が窺えるか。 ○「わかる」ことが達成されたか。	私語・居眠りも減少しており、授業に対する評価も上昇している。	B	次年度は、電子黒板とタブレットを導入することになっており、アクティブラーニングを含めてより良い授業を展開できるかが課題である。
2	○教室環境を整え、生徒一人ひとりが協同してクラス作りに参加する自発性を養成することに努める。	学級経営	○一人ひとりの役割とその責任を意識づける。 ○他者を常に自己の指標とする協同性を身に付けさせる。	○教室は常に整頓されているか。 ○クラスの友人関係は良好か。 ○役割は責任をもって果たされたか。	学級経営自体には大きな問題は見られないが、環境美化（清掃）の面では、生徒から見ても多少問題があるようである。	B	清掃は、日常の重要な活動の一つであり、清掃監督の教員がしっかりと生徒を指導し、その役割の意識付けをしていかなければならない。
3	○基本的生活習慣の確立 ○公平・公正な視点からルールの遵守について身に付けさせねばならない。 ○保護者との協力	生徒指導	○あいさつ、遅刻および他を思いやる心、言葉づかいの指導を図る。 ○保護者との連携を密にし、しっかりと協力する。	○基本的生活習慣は身に付いたか。 ○保護者の理解を得た指導が行われたか。	指導処置件数も減少しており、全体としては良い傾向にある。	B	『あいさつ』は基本的生活習慣の基本である。より多くの生徒が、しっかりとあいさつができるように指導を続けていく必要がある。
4	○目的を明確にし、自己の将来設計をしっかりと考えさせる。 ○一人ひとりに懇切に接し進路実現に向ける。	進路指導	○的確な進路指導の充実。 ○一人ひとりの適性を見極め、指導することで個々の意識を明確にする。 ○数値目標の設定。	○生徒一人ひとりが自己の進路についてしっかり考えることができたか。 ○数値目標は達成できたか。	進路指導に対する満足度は上昇しているが、残念ながら進路の数値目標は達成しきれなかった。	B	大学入試も年々変化しており、対応が難しいところであるが、より入試情報等を分析し、進路指導に役立て、数値目標に結び付けていく必要がある。
5	○すべての生徒が行事や部活動に積極的に参加するよう全体で取り組み、学校力の活性化を図る。	学校生活	○すべての生徒が協同して行事・部活動に参加できるように的確な指導を行う。 ○部活動の活性化と充実した成果をめざして指導する。	○生徒は積極的に行事や部活に参加したか。 ○部活動は充実した成果をあげることができたか。	部活動の活性化が見られ、特定部活のみならず、全体的に好成績をあげている。	A	部活動に対する整備は、少しずつではあるが進んできている。今後もこれを継続・維持していかなければならない。

第 三 者 評 価	
実施日 平成30年 3月19日	
第三者委員からの意見・要望等	評価
授業見学の際の生徒の授業態度も年々よくなっているように思う。次々と新しい取り組みが必要となるが、生徒のためにより良い授業を行ってほしい。	A
学級経営に対する生徒の満足度が上昇しているのは好ましい。学校が汚いという印象はそれほどないが、清掃は重要であるので、指導も含めお願いしたいと思う。	A
学校全体の雰囲気も落ち着いてきており、良い傾向だと思う。『あいさつ』もしっかりしているという印象を持っている。	A
昨年と比較すると、数値的には進路実績が下がってしまったが、全体的には悪いとは思わない。本年度の反省を次年度に生かしてもらえればよいのではないかと。	B
部活動の活躍は素晴らしいと思う。特に近年のダンス部と生物部は目を見張るものがある。他部活も成績を伸ばしており、次年度にも大いに期待したい。	A